



暖冬だと言われながら本格的な冬將軍がやってきた。そんなことにはお構いなしに半袖・半ズボンのふたばっ子。霜溶けの園庭狭しと、白い息を弾ませ走り回り手つなぎ鬼、縄跳びなどに興じている。

厳しい寒さの中でも、

立春を迎える頃には

梅のつぼみも膨らみ、あたりに春の香りをふりまく。

子どもが大きく成長した姿に

感慨ひとしおの発表会が終わるとあっという間に

保育園の一年が過ぎてゆく。



今月のねらい

・この時季ならではの自然現象に触れながら沢山遊びたいと思います。また、発表会に向けての活動の中で自己表現や、友だちと一緒に活動する楽しさを味わえるように配慮していきます。

3	水	豆まき／巡回相談 ピョピョひろば
4	木	サロン
13	土	発表会
17	水	交通安全教室(2歳児以上)
18	木	野外調理の日／サロン
22	月	保育参観(にじ・きりんグループ)
23	火	保育参観(ひかり・ぞうグループ)
24	水	保育参観(ほし・だいち)
25	木	誕生会
26	金	避難訓練
29	月	リトミック(1歳児～)

今月の予定の中から・・・

●豆まき&おにぎりデー(3日)

・今年も、自分の心の中に住む泣き虫鬼！おこりんぼ鬼！等、子ども達が「おにはくそと！ふくはうち」と豆を投げて追い払います。昼食もおにぎりを食べて鬼を切ります。ご家庭でも豆まきを楽しんでください。

●発表会(13日) 9時50分

・子ども達は日々の生活の中で、歌や遊戯、劇遊びを楽しんでいます。2歳児以上の子ども達が参加となりますが、当日の登園の際は、普段通りの手順でお願いします。保育室への入室や、写真やビデオの撮影等は、子ども達に不安感を与えかねませんので、どうぞご遠慮ください。また、詳細につきましては先日のお手紙をご覧ください。

●交通安全教室(17日)

・今回はチャイルドシートの大切さを学びます。お子さんは送迎の際にチャイルドシートを着用していますか？大人の意識が大切ですね。

●野外調理(18日)

・今月の野外調理は、初めてのシチューに挑戦します。今年度最後なので、一つ上のクラスの見学をし、次年度への期待へ繋げていきたいと考えています。美味しいシチューができますように！

●保育参観(22日・23日・24日)

・今年度最後の保育参観。各担任が、1年間の成長として、子ども達のどんな姿をお家の方々に見て頂きたいかを考えている所です。詳しい日程は先日配布致しましたお手紙をご覧ください。お弁当等をご確認ください。

●リトミック(29日)

・今月は1歳児もリトミックデビューをします。中島先生からご指導を受けるのは初めての1歳児ですが、保育室では日々音楽に合わせて楽しく身体を動かしています。

☆お知らせ☆おねがい

☆だいちぐみ担任の天野めぐみ先生が2月下旬に産休に入ります。

☆そろそろ次年度の役員さんを決める時期となりました。子ども達と園行事に参加しながら楽しみませんか？保護者会からも募集のお手紙が出ますので、是非ご協力ください。

★「感染源にならないで！」

・いよいよインフルエンザが猛威をふるう時季に突入しました。インフルエンザに限らず、ノロウイルス等の感染症は、保育園など子どもの集団ではアツという間に拡散します。子どもの様子がおかしい、熱がある時などは、お休みされるか、病院受診をお願い致します。

\*今月は納入袋にて作品袋代(90円)を徴収致しますのでよろしくお願ひ致します。

(3月末に今年度の作品を入れて持ち帰ります。)

しつけ・「自由と規律」

先月「しつけ」のことを話しましたが、園便りの「しつけ」とは違う内容で、校則と家庭の方針、しつけについての投書が新聞に載っていました。ほとんどの中学では、茶髪やピアスを校則で禁止しています。集団生活の中では許されないという意見と、校則で決まっているからと押し付けるのは良くない、という意見が対立していました。園ではピアスをする子はいませんが、最近では髪を染めたり、頭にイナズマみたいなソリをいれたり、パーマをかけてくる子があります。▼親がいったいピアスをしていたり、刺青をしている人がいる園があるようですが、流石に本園にはそういう人は少ないように思います。親がしていたら「子どもがして、どうして悪い」「人に迷惑をかけているわけじゃないし、いいじゃないか」と言われたら困ります。しかし、先月、園は集団教育施設であり、集団生活

の中で、社会のルールを学び、社会性を身に付けていくところと申しました。集団では、何でも自由にやって良いという訳ではなく、その集団のルールは守らなければならないと思います。しかし、園ではパーマや多少の茶髪は問題になりませんから、自由で良いでしょうが、中学生くらいになると、ある程度規制しないと放縱になってしまうような心配があります。逃げるわけはありませんが、やはり「家庭のしつけ」の問題が大きくなると思います。まさに自由と規律の衡量の問題でもあります。▼園児の整然とした集団行動を売りにしている園があります。軍隊ならまだしも、北朝鮮や戦前の日本の学校を連想してしまうのは、私だけでしょうか。日本は、個性や違いを認めない同一性、みんな同じ、一斉揃っていることが好きな国民性なのではないか。(違っているといじめに合うのも、こんなところに原因があるように思えます。)勿論、個人の自由を守るためには、集団の中で個が衝突しないように、規則・ルールが必要です。個と全体のバランスの中で比較衡量が大切でしょう。▼園では、細かく規則を作ったり、個性を奪うようなしつけを押し付けたり、「しつけは家庭」と突き放すつもりはありません。子ども達のためにどうしたら良いか、一緒に考えて行きたいと思えます。「しつけ」も「規律」も子ども達のためのものです。子どもが初めて出会う小さな社会：保育園の中で、社会に出てスムーズに、楽しく生活できるように、良い生活習慣と社会性を身に付けるようにしています。ちなみに園では、あいさつ・靴を揃える・順番を守る等を徹底しています。これらができるようにになると、自然と他の事もできるようになります。

理事長 浅田 精利

